

平成18年度 【教員】特別臨時審査実施要項

1.期 日 平成18年8月13日(日)

2.会 場 『北海道立総合体育センター弓道場』……札幌市豊平区豊平5条11-1-1 TEL 011-820-1703
(道順) JR「札幌駅」から地下鉄東豊線・福住行きに乗車、「豊平公園駅」下車(所要時間約10分)。連絡地下道で徒歩約3分。

審査日程・種別	月 日	開館時間	開始時間	種 別
	8月13日(日)	9:00	10:00	初～六段・錬士

受審資格	種 別	受 審 資 格
	貳～五段	本連盟の初～四段の認許年月日が、平成18年3月13日まで
	六 段	本連盟の五段の認許年月日が、平成17年8月13日まで
	錬 士	本連盟の五段の認許年月日が、平成17年8月13日まで

上記の条件を満たす者で、次の(1)、(2)の何れかに該当する「学校教育法」の定める教員であること。

- (1)各地区連合会で実施の学校弓道指導者講習会を修了した者。
- (2)第37回全日本教職員弓道選手権大会に参加した者。

5.審査方法 六段の部：行射の審査及び学科試験の総合成績により可否を決定する。

- (1)行 射：第一次審査の要領で行う。
- (2)学 科：学科(筆記)試験を行う。

七段の部：行射の審査及び論文の総合成績により可否を決定する。

- (1)行 射：第一次審査の通過者について、第二次審査を行い候補者を決定する。
- (2)論 文：候補者に対し、指定した問題について自作・自筆の論文を提出させる。

(論文は400字詰原稿用紙5枚以上とし、審査後15日以内に提出するものとする)

錬士の部：行射、面接及び学科試験の総合成績により可否を決定する。

- (1)行 射：第一次審査の通過者について、第二次審査を行う。
- (2)面 接：行射の第一次審査の通過者について人物、見識及び指導力を査定する。
- (3)学 科：学科(筆記)試験を行う。

6.受審の申込について

- (1)方 法：所定の用紙により審査料を添えて、所属地連へ申請すること。
- (2)締切日：平成18年7月11日(火) 締切厳守
- (3)申込先：〒150-8050東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館内
(財)全日本弓道連盟 「教員特別臨時審査係」宛
TEL 03-3481-2387(代)
FAX 03-3481-2398

7.注意事項

- (1)申込書の申請には、所属地連の締切日に十分留意すること。
- (2)申込書は、必要事項を楷書で判りやすく、明確に記入すること。会員IDを必ず記入すること。
ID記入欄の無い旧様式の申込書利用の場合は、下部空欄に記入すること。
- (3)申込書に虚偽の記載があった場合は、審査の結果が無効となることもある。
- (4)受審者は、開始時刻までに会場へ集合すること。
- (5)受審者は、必ず本連盟会員章をつけること。五・六段、錬士の各受審者は、全員和服を着用すること。
- (6)審査に遅刻したり呼び出しに応じない際は、棄権したものとみなす。
- (7)立射で受審する際は、審査申込書に立射で受審したい旨を朱書きして、その事由を証明する「身障者手帳の写し」または「医療機関の診断書(発行日から1年以内有効・コピー可)」を付し、地連会長の認証を受けて申し込むこと。
- (8)日程の都合上、「六段」と「錬士」の両種別を受審することはできない。
- (9)会場施設には駐車場はあるが狭小のため、公共交通機関を利用のこと。

8.その他

審査申込書に記載される個人情報の利用目的について

審査申込書の提出により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。

- (1)審査名簿ほか関係資料への記載(氏名、所属地連、年齢、既得の称号及び授与年月、既得の段位及び認許年月、その他特記事項)
- (2)立順表への記載(氏名、所属地連)
- (3)審査結果報告および本連盟刊行物(機関誌など)への記載(氏名、所属地連、既得の称号または段位)

平成18年4月

主 催 財団法人全日本弓道連盟
主 管 北海道中央地区弓道連盟